

会議の実施日時	令和5年10月26日（木）19：00～20：30（Web会議） 令和5年度第2回「福山・府中地域保健対策協議会保健医療計画委員会」・ 「福山・府中圏域地域医療構想調整会議」及び第2回「医療連携会議」合同会議
（1）広島県保健医療計画の「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」について	
<p>○資料1により、広島県保健医療計画の「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・外来医療計画の策定の背景としては、無床診療所の開設が都市部へ偏っている、診療科の専門分化が進んでいる、医療の連携の取組が医療機関の自主的な取組に委ねられている、などの状況にあるとされており、広島県では、令和2年3月に、広島県保健医療計画の一部として外来医療計画を、外来医療機能の偏在解消、医療機器の共同利用を促すために策定したところである。・現行計画は今年度までの計画となっており、来年度以降は次期計画となる。来年度以降、かかりつけ医機能報告が創設され、短期間で外来医療に関わる体制の変化が見込まれることから、外来医療計画は3年ごとに見直しを行っていくこととなっている。・当圏域の案として、[1]外来医療機能の①圏域で不足する外来機能については、アンケート調査結果の推定値から「初期救急」、「在宅医療」、「公衆衛生（学校医、予防接種、健康診断）」を不足する機能としている。・アンケートの中で寄せられた意見で不足する機能として挙げられている「検死」については、現在の整理（案）には記載していないが、圏域の意見として「その他（検死）」として記載するかどうかにについて、御意見等頂きたい。・②新規開業者等へ「不足する外来医療機能」を担うよう申出書の提出を求める手続きは、「令和6年4月1日以降検討」するとしている。・[2]医療機器の共同利用について、①圏域毎の共同利用方針は「現行どおり」、②医療機器の稼働状況の報告は「意見なし」としている。 <p>[質疑・意見]</p> <ul style="list-style-type: none">・検案は一部の先生に非常に負担がかかっており、かなり実感としても不足しているのではないかと考えるため、その他の項目に入れることについて問題ないとする。 <p>○圏域で不足する外来機能について、「初期救急」、「在宅医療」、「公衆衛生（学校医、予防接種、健康診断）」、「その他（検死）」で県へ報告する。</p>	
（2）令和4年度病床機能報告（確定値）について	
<p>○資料2により、令和4年度病床機能報告（確定値）について説明</p> <ul style="list-style-type: none">・当圏域の病床機能報告について、令和4年度は急性期及び回復期は増、慢性期が減となっている。・令和7（2025）年の必要病床数の暫定推計値と比較すると、高度急性期、急性期は過剰、回復期、慢性期は不足となっている。休棟等を除く病床数計は、2025年の暫定推計値を下回っている。・休棟等を有する医療機関についても、2025プラン策定の対象となっており、今年度の最終の会議で協議することとしている。・「令和4年度病床機能報告における「地域急性期病棟」について」、病床機能報告における地域急性期病棟とは、令和元年度に策定されたもので、回復期病棟であっても、救急医療を提供している病棟、	

具体的には病床機能報告で救急医療管理加算の実績がある病棟を回復期であっても「地域急性期」と位置付け、県のHPで公表することとしている。

・2の県内地域急性期病棟にあるように、昨年度の地域急性期病棟は、表の17病院18病棟で、当圏域では、脳神経センター大田記念病院と寺岡記念病院の2病院となっており、県のHPで公表されている。

〔質疑・意見〕 なし

（3）地域医療構想調整会議講演会の開催について

○資料3により、地域医療構想調整会議講演会の開催について説明

・11月9日（木）19：00～21：00に国立大学法人富山大学附属病院地域医療総合支援学講座 客員准教授 小林 大介先生を講師に迎え、講演会を開催する。

〔質疑・意見〕 なし